

第12回 ヨウ素学会シンポジウム

プログラム

- ◆ 日 時 : 平成21年10月29日(木) 9:30~17:05
- ◆ 場 所 : 千葉大学けやき会館
- ◆ 主 催 : ヨウ素学会、千葉大学(創立60周年記念)
- ◆ 共 催 : (社)日本化学会、日本ヨード工業会
- ◆ 協 賛 : (社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、日本ヨード懇話会、
(財)千葉県産業振興センター、千葉工業大学技術・情報センター

< I部~IV部:講 演 > 1F大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:30~9:40	挨拶	田中尚文 会長		
I部: 座長 (海宝 龍夫)					
①	9:40~10:25	招待講演	From the Napoleonic Wars to cloud formation: Two centuries of research on iodine in seaweeds	Frithjof C. Kuepper	Scottish Association for Marine Science, Dunstaffnage Marine Laboratory
II部: 座長 (北村 二雄)					
②	10:25~10:40	一般講演	含ヨウ素TTF誘導体を用いたリサイクル可能な 有機伝導体の開発	○今久保達郎・ 村山遼式	長岡技大工
③	10:40~10:55	一般講演	ヨウ素-ホスフィン複合系を用いたアセチレン類への 選択的ヒドロヨード化反応	○川口真一・ 小川昭弥	阪府大院工
III部: 座長 (落合 正仁)					
④	10:55~11:40	招待講演	超原子価ヨウ素触媒を用いる アルコールの選択的酸化反応	石原一彰	名大院工
IV部: ポスター発表ショートスピーチ 座長 (石川 勉)					
⑤	11:45~12:25	20件×2分=40分			

< V部:ポスター発表、併設展示 > 3Fレセプションホール

*時 間 ; 展示 12:00~14:35.....発表と質疑(13:05~14:35)					
一般・ワーキンググループ	発表件数 47件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学等 資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング等 利用、応用、実用品の開発と製品紹介(医薬品、殺菌消毒剤等) 生物圏におけるヨウ素の働きとその循環機構			
併設展示		ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (時間; 随時)			

< VI部~VIII部:講 演 > 1F大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
VI部: 座長 (天知 誠吾)					
	14:45~14:50	学会賞受賞式			
⑥	14:50~15:35	受賞講演	ヨウ素の微量分析法の開発と環境・地球化学への応用	村松康行	学習院大理
⑦	15:35~15:50	一般講演	生体によるヨウ素利用の進化ー円口類の生活環境と 甲状腺ホルモン生産系	近江谷克裕・鈴木眞太郎 ○近藤洋一	北大医・群馬大
VII部: 座長 (藤川 高志)					
⑧	15:50~16:05	一般講演	Electronically Modified SWCNH Film with Iodine Adsorption	○F.Khoerunnisa・大場友則・ 加納博文・金子克美	千葉大院理
⑨	16:05~16:20	一般講演	全気相型化学ヨウ素レーザー	○増田泰浩・中村智也・ 遠藤惟守・内山太郎	慶大理・東海大理
VIII部: 座長 (金子 克美)					
⑩	16:20~17:05	招待講演	Polyiodide Liquids and Solids - From Application to Fundamental and Back Again	Lars Kloo	Royal Institute of Technology (Sweden)

※各講演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

17:15~19:00	懇親会 (けやき会館3Fレセプションホール)
-------------	------------------------

ポスター発表プログラム

会場：千葉大学けやき会館(3F 礼拝ホール)ー開場 12 時 00 分

発表と質疑 13 時 05 分～14 時 35 分

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
01	ヨウ素を鍵元素とする有機フッ素化合物の電解合成(1) ヨードベンゼン誘導体をメディエーターするイオン液体中での電解フッ素化反応	○澤村享広、 稲木信介、 淵上寿雄	東工大・総理工
02	ヨウ素を鍵元素とする有機フッ素化合物の電解合成(2) 電子不足オレフィン類の陽極ヨードフロリネーションとその合成的応用	名倉裕力、○栗林俊輔、淵上寿雄	東工大・総理工
03	ヨウ素アニオンをメディエーターとして利用したアルケンの電解ジフッ素化反応	○脇田菜摘・青山元志・原正治	北大院工
04	五フッ化ヨウ素による選択的部分ポリフッ素化反応の開発	○福原忠仁・原正治	北大院工
05	多置換フルオロアルケニルヨードニウム塩の立体選択的合成	○田原竜平・下馬場智・原正治	北大院工
06	キラルアミンによる不斉Michael付加とNISによる不斉補助基の新規除去法	○葉山登、越智俊輔、小関稔、梶本哲也、細井信造、野出學	京都薬大
07	イオン固定型ヨードベンゼンを触媒とした <i>m</i> CPBA による環境指向型ベンゾスルタム及びベンゾラクトム構築反応	○石渡慶秀・東郷秀雄	千葉大院理
08	過酢酸を利用する実用的な有機ヨウ素触媒フェノール酸化法の開発	○加藤大詩、内山輝義、土肥寿文、北泰行	立命館大薬
09	ヨードベンゼンを触媒として使用する1級アミドのHofmann転位反応	○宮本和範、酒井祐太、落合正仁	徳島大・薬
10	超原子価ヨウ素とヨウ素分子を用いるアルキンのヨードアリアル化反応	Md. Ataur Rahman・○北村二雄	佐賀大・理工
11	ヨウ素とクロラミン塩によるオレフィンの水中ヨードアミド化	南方聖司、○早川純平	阪大院工
12	ヨウ素を利用する酸化-転位タンデム反応に関する研究	○金井直彦、中山弘基、多田教浩、三浦 剛、伊藤彰近	岐阜薬大
13	ヨウ素を触媒として用いたアルコールとニトリルとの反応	横山悠・友野一樹・三野孝・坂本昌巳・○藤田力・笠嶋義夫	千葉大院・工 千葉工大・工
14	ヨウ素を触媒として用いた3-ヒドロキシ酸とビニルエーテルの反応	富崎啓太・水島春菜・三野孝・坂本昌巳・○藤田力・笠嶋義夫	千葉大院・工 千葉工大・工
15	ヨウ素による8オキソグアニンの酸化反応	○喜納克仁、森川雅行、小林輝彦、小森理絵、小林隆信、清悦久、宮澤宏	徳文理大香川薬
16	四ヨウ化チタンを用いるシアノ-β-ケトエステルのヨウ素化-環化による2-ヨードピリジンの合成	○八谷巖・南有志・日置陽介・清水真	三重大院・工
17	ヨウ化水素と3-(アリアルアミノ)アクリル酸エステルによる新規ジヒドロキノリン誘導体生成反応	松本祥治○森隆浩・赤染元浩	千葉大院・工
18	ヨウ化物イオン-Nb(V)触媒-過酸化水素による脱チオアセタール化	○桐原正之、野口拓也、石塚勇貴	静岡理工大理工
19	天然物合成を指向した多置換シクロプロパンの立体選択的合成	○星真幸、金子統、田渕俊樹、荒井秀、西田篤司	千葉大院・薬
20	天然物合成を志向したヨウ素系酸化剤の利用	○伏木啓子、江富なつの、熊本卓哉、石川勉	千葉大院・薬
21	ヨウ素電解液を用いたミセル電解フタロシアニン膜の光電気化学特性 (I)	○宇田川泰 ¹ 、佐治哲夫 ² 、星野勝義 ¹	¹ 千葉大院・融合科学、 ² 東工大院・物質科学
22	ヨウ素電解液を用いたミセル電解フタロシアニン膜の光電気化学特性 (II)	○山川和也 ¹ 、佐治哲夫 ² 、星野勝義 ¹	¹ 千葉大院・融合科学、 ² 東工大院・物質科学
23	ポリマーへのヨウ素吸着と構造制御を利用したハイブリッドコンポジット	○川口昭夫、(信州大・繊維) 後藤康夫	京大・原子炉
24	Pb ₁₀ (VO ₄) ₆ I ₂ およびPb ₁₀ (VO ₄) _{4.8} (PO ₄) _{1.2} I ₂ の合成と焼結	末次寧	(独) 物質・材料研究機構

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
25	キトサン-ヨウ素複合体の調製とその抗菌性	○滝口泰之 ¹⁾ 、井上実行 ¹⁾ 、山口達明 ¹⁾ 、福澤 弘 ²⁾	千葉工業大学 ¹⁾ 、関東天然瓦斯開発(株) ²⁾
26	キトサン-ヨウ素を新たなヨウ素源としたヨウ素含有アルミニウム陽極酸化皮膜の作製と評価	○佐々木大介 ¹⁾ ・若菜泰弘 ²⁾ ・松本尚之 ¹⁾ ・滝口泰之 ²⁾ ・橋本和明 ²⁾	千葉工大院・工 ¹⁾ 、千葉工大・工 ²⁾
27	ヨウ素処理によるバクテリアセルロース炭素体の形態制御	○宮嶋尚哉 ¹⁾ 、棚池修 ²⁾ 、神宮司健 ¹⁾ 、阪根英人 ³⁾	¹⁾ 山梨大・院医工、 ²⁾ 産総研、 ³⁾ 山梨大・機器分析センター
28	ヨウ素ドーブPVA 薄膜のヨウ素 K-edge XAFS 解析	○三木達郎 ¹⁾ 、永松伸一 ¹⁾ 、赤塚拓也 ¹⁾ 、小西健久 ¹⁾ 、藤川高志 ¹⁾ 、大石公美子 ²⁾ 、板谷利昭 ²⁾	¹⁾ 千葉大院・融合、 ²⁾ (株)クラレ
29	X 線吸収分光法によるポビドンヨード製剤中の有効ヨウ素量の評価	○金子拓真 ¹⁾ 、久保忠一 ²⁾ 、三木達郎 ³⁾ 、小西健久 ³⁾ 、藤川高志 ³⁾	千葉大・自 ¹⁾ 、医療法人壮和会エビハラ病院 ²⁾ 、千葉大・融 ³⁾
30	ポビドンヨードの有効性を高めるための手段	久保忠一	NPO 法人床ずれ研究会
31	Application of HPLC combined with sector-field ICP-MS for iodine speciation in seawater	○Jian Zheng, Masatoshi Yamada	National Institute of Radiological Sciences
32	逆相高速液体クロマトグラフィーによるヨウ化物イオンおよびヨウ素化アミノ酸の一斉分析	○宮下正弘 ¹⁾ 、瀬山義幸 ²⁾	星薬大 ¹⁾ 、日本薬大 ²⁾
33	XANES と HPLC-ICP-MS を用いた水-土壌系でのヨウ素の化学形態分析	○嶋本 洋子, 高橋 嘉夫	広島大・院理
34	土壌に添加したヨウ素の植物による吸収率の経時的変化	○武田晃, 塚田祥文, 高久雄一, 久松俊一	環境科学技術研究所
35	微生物由来酵素“IOE”を用いたヨウ素除菌剤の遊離ヨウ素の定量	○鈴木美緒、田中 寛、天知誠吾	千葉大・園芸
36	好気性細菌によるヨウ素の蓄積とその化学形態	○森村ひとみ、田中万也*、大貫敏彦*、田中寛、天知誠吾	千葉大・園芸、日本原子力研究開発機構*
37	ヒトにおけるヨウ素摂取量と尿中排泄量との関係	○塚田信 ¹⁾ 、浦川由美子 ¹⁾ 、横山次郎 ²⁾	¹⁾ 鎌女大、 ²⁾ 農産工
38	Occurrence of iodine and methane in active margins: A potential link to past Climatic hanges	○Udo Fehn	University of Rochester
39	ヨウ素同位体年代法を用いたメタン根源岩の推定: 下北半島沖ガスハイドレート鉱床の例	○戸丸仁、Udo Fehn、松本良、稲垣史生、青池寛	東京大・理・地惑、JAMSTEC
40	前弧海盆堆積物中の間隙水の起源とヨウ素とメタンの濃集機構	○金子信行	(独) 産業技術総合研究所
41	水稻根のヨウ素酸還元作用	和知孝典 ¹⁾ 、加藤翔太 ¹⁾ 、高橋美智子 ¹⁾ 、○関本 均 ¹⁾ 、吉田 聡 ²⁾	¹⁾ 宇都宮大農、 ²⁾ 放医研
42	AMS によるヨウ素同位体比測定のための天然試料前処理の検討	○阿部恭子 ¹⁾ 、松崎浩之 ¹⁾ 、村松康行 ²⁾	東京大学 MALT ¹⁾ 、学習院大学 ²⁾
43	農環研自然圃場土壌調査試掘断面から採取された黒ボク土試料のヨウ素同位体比の測定	○松崎浩之 ¹⁾ 、前島雄治 ²⁾ 、大倉利明 ²⁾ 、土屋陽子 ¹⁾ 、阿部恭子 ¹⁾ 、宮入陽介 ¹⁾ 、村松康行 ³⁾	東京大学 MALT ¹⁾ 、農業環境技術研究所 ²⁾ 、学習院大学 ³⁾
44	黒ボク土へのヨウ素の蓄積に関する研究	○伊藤絵理佳 ¹⁾ 、村松康行 ¹⁾ 、松崎浩之 ²⁾	¹⁾ 学習院大学、 ²⁾ 東京大学
45	北海道道北一道央地域に産する温泉水中のヨウ素及びその他微量元素の分析	○岡部宣章 ¹⁾ 、柏木佑 ¹⁾ 、村松康行 ¹⁾ 、風早康平 ²⁾ 、高橋正明 ²⁾ 、松崎浩之 ³⁾	学習院大学 ¹⁾ 、産総研 ²⁾ 、東京大学 ³⁾
46	雨水中におけるヨウ素、臭素、塩素の分析	○ 安斎博哉、村松康行、平川真生	学習院大・理
47	ヨード卵の2型糖尿病に対する有用性評価 (第二報)	○横山次郎、富岡みゆき、井上肇	農産工、聖マリ医大、聖マリ医大院

17:15~19:00

懇親会 (けやき会館3Fレセプションホール)